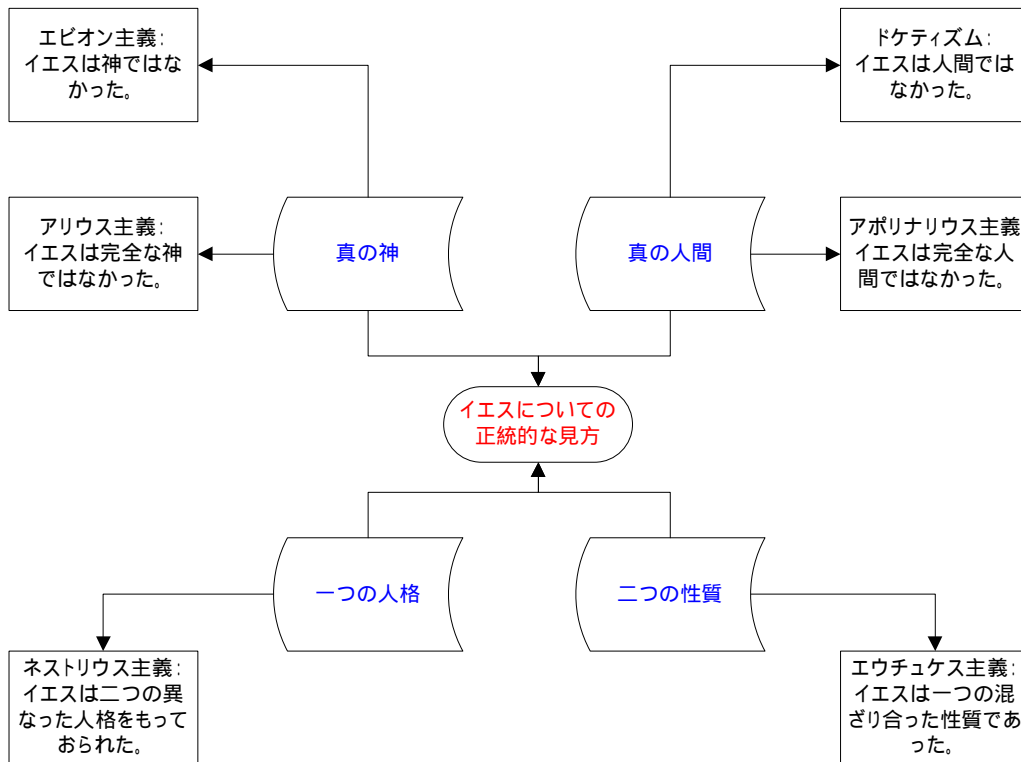


キリストの人格に関する六つの基本的な異端



カルケドン信条

一つにして同じ御子、我らの主イエス・キリストを告白し、教えることに同意する。

神性において同じように完全で、**人性**においてもまた完全である。

(→エビオン主義) (→ドケティズム)

真の神にして、真の人なる魂と肉体を持ち、神性によれば**父と同質**で、人性によれば**我らと同質**である。

(→アリウス主義) (→アポリナリウス主義)

罪の他にはすべての点において我らのような、神性によれば**すべての世の先に**生まれたまい、人性によりすればこの世において我らの救いのために神の母である**処女マリヤより**生まれたもうた。

一つの同じキリスト、御子、独り子は二つの性質において、**混同せず、変化せず、分割せず、分離せず**に認められるべきである。

(→エウチュケス主義)

二性の区別はその結合によって解消したのではなく、各性質の特性は**一つの人格、一つの本質の中に保たれ、共存**する。

二つの人格に**分離、分割されず**して、一つの同じ御子、独り子、ことばなる神、主イエス・キリストである。

(→ネストリウス主義)